

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.5
Q1 室内環境			0.40					3.6
1 音環境		3.0	0.15	3.2	1.00			3.1
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	0.50			
2 設備騒音対策		-	-	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	3.5	0.50			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能	Dr-50	3.0	-	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	Lr-45	3.0	-	4.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-			
2 温熱環境		2.0	0.35	5.0	1.00			4.1
2.1 室温制御		3.0	0.50	5.0	1.00			
1 室温		3.0	0.63	-	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能	設計住宅性能評価 省エネルギー対策等級4	3.0	0.38	5.0	1.00			
4 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		2.7	0.25	3.5	1.00			3.2
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.0	0.50			
1 昼光率	共用部:4.0、住居:8.0	5.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	3.0	0.50			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		2.0	1.00	3.0	1.00			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		1.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
4 空気環境		3.6	0.25	3.6	1.00			3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	内部仕上材・接着剤・天井裏・外壁内部にF 使用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.1
1 機能性		3.3	0.40	3.2	1.00			3.2
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	4.0	0.60			
1 広さ・収納性	100Mbit	3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	4.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	2.0	0.40			
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画		3.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	できるだけ段差をなくし、容易に清掃が可能な計画とする	5.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.2	0.31	-	-			3.2
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	設計性能住宅評価 劣化対策等級3	5.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4	信頼性		3.6	0.19	-	-	
	1	空調・換気設備	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備	4.0	0.20	-	-	
	3	電気設備	3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法	4.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	4.0	0.20	-	-	
		節水型器具を使用、雨水浄化清水装置を設置					
		耐震クラスA					
		精密機械は地下に設置しない					
3	対応性・更新性		3.0	0.29	3.1	1.00	3.0
3.1	空間のゆとり		-	-	3.2	0.50	
	1	階高のゆとり	3.0	-	4.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	3.0	-	2.0	0.40	
		階高2.91m					
3.2	荷重のゆとり		3.0	-	3.0	0.50	
3.3	設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性	3.0	0.17	-	-	
	2	給排水管の更新性	3.0	0.17	-	-	
	3	電気配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
	4	通信配線の更新性	3.0	0.11	-	-	
	5	設備機器の更新性	3.0	0.22	-	-	
	6	バックアップスペース	3.0	0.22	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.8
1	生物環境の保全と創出	既存樹木を保存等	4.0	0.30	-	-	4.0
2	まちなみ・景観への配慮	歴史のある松並木を再生、周辺環境に調和等	4.0	0.40	-	-	4.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.5	0.30	-	-	3.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	4.0	0.50	-	-	
		緑地を確保し、暑熱環境を緩和					
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.9
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.5
1	建物の熱負荷抑制	省エネルギー対策等級4	5.0	0.40	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		3.5	0.20	-	-	3.5
	2.1	自然エネルギーの直接利用	3.0	0.50	-	-	
	2.2	自然エネルギーの変換利用	4.0	0.50	-	-	
		太陽光発電					
3	設備システムの高効率化	潜熱回収型給湯器設置	4.7	0.40	-	-	4.7
		集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	#VALUE!		-	-	
		集合住宅の評価	4.7		-	-	
4	効率的運用		-	-	-	-	-
	4.1	モニタリング	3.0	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	3.0	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.3
1	水資源保護		3.4	0.15	-	-	3.4
	1.1	節水	4.0	0.40	-	-	
		節水型便器(洗浄水量4.8L)					
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.60	-	-	
		1	3.0	1.00	-	-	
		2	3.0	-	-	-	
		雨水利用システム導入の有無					
		雑排水等利用システム導入の有無					
2	非再生性資源の使用量削減		3.3	0.63	-	-	3.3
	2.1	材料使用量の削減	2.0	0.07	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.24	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-	
	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.05	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	5.0	0.24	-	-	
		住戸内は乾式間仕切りを使用し、容易に分別可能					
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.2	0.22	-	-	3.2
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.32	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避	3.3	0.68	-	-	
		1	4.0	0.33	-	-	
		2	3.0	0.33	-	-	
		3	3.0	0.33	-	-	
		窒素消火ガス					
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.6
1	地球温暖化への配慮		4.2	0.33	-	-	4.2
2	地域環境への配慮		3.5	0.33	-	-	3.5
	2.1	大気汚染防止	3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善	4.0	0.50	-	-	
		地表面対策面積率を45%以上確保し、蒸発冷却効果を高める					
	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3.2	0.25	-	-	
		1	3.0	0.25	-	-	
		2	3.0	0.25	-	-	
		3	3.0	0.25	-	-	
		4	3.0	0.25	-	-	
		雨水排水負荷低減					
		汚水処理負荷抑制					
		交通負荷抑制					
		廃棄物処理負荷抑制					
		ごみ分別BOXを設置、住戸にディポザーを設置					
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止	3.0	0.40	-	-	
		1	3.0	1.00	-	-	
		2	-	-	-	-	
		3	-	-	-	-	
	3.2	風害・砂塵、日照障害の抑制	3.0	0.40	-	-	
		1	3.0	0.70	-	-	
		2	3.0	-	-	-	
		3	3.0	0.30	-	-	
	3.3	光害の抑制	4.4	0.20	-	-	
		1	5.0	0.70	-	-	
		2	3.0	0.30	-	-	
		屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					
		周辺へ漏れ光の少ない照明器具を採用、広告物照明がない等					
		壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					